

令和6年度 こども園における自己評価 八尾市立南山本せせらぎこども園

4: 十分達成している 3: ほぼ達成している 2: 検討を要する 1: 改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
教育・保育目標について	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	・職員全体で園目標を共有している。また、前年度の振り返りや新年度のこどもの実態を把握しながら、教育・保育計画を作成している。
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	4	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	・カリキュラム作成前に学年会議をもち、子どもの育ちや学びを共有し、次月の保育内容の充実につなげた。 ・一人ひとりの子どもが「ほっと安心」「笑顔がいっぱい」になる生活や遊び環境を心がけた。各クラスが、子どもの興味・関心に応じた遊びを展開し、意欲的に生活や遊びをする姿につなげた。 ・クラスのともだちの存在を知ったり、思いを通じ合わせたりしながら共に生活する楽しさを味わえるような保育者のかかわりを心がけ、子ども同士のつながりを広げた。 ・子どもの人権について、話しあったり、事例について考えたりするなど自身の保育を振り返る機会をつくり、人権意識の大切さを共有した。
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ（ディリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
	・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4	

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	・第2避難所の小学校への避難訓練を実施した。今回の気づきを活かし、実際の災害時の状況を想定する中で、よりよい方法を検討していく。
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等）を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	4	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	3	
職員の 資質向上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	3	・他園の研究会への参加が可能になるように体制を調整することで、多くの機会をもつことができた。参加者の学びを園内で発信する方法については、再検討を行っていききたい。
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	3	
職員運営について	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	・データでの共有、口頭での伝達を必要に応じて使い分け、効率のよい会議をめざしている。更に内容について検討する。
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	3	
	・職員は公務員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	
守秘義務の遵守	・乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	4	・個人情報の取り扱いについて学び、取り扱いに注意を行っている。
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目		内容	評価	備考欄
開かれたこども園づくり	施設・地域との交流や連携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	4	・研究報告会では、小学校への滑らかな接続につながる機会となるよう、園の取り組みを発信した。 ・中学2年生、小学5年生との交流機会をもつことができた。次年度更によりよい交流となるよう反省を活かしていく。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	4	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互惠性のある交流になるように工夫しているか。	3	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	3	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	3	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子育て支援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	・保護者の悩みに寄り添い、各家庭の状況把握に努め、個々に応じた手立てを行っていく。 ・安心して子育てできる環境づくりをめざして。
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	3	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	4	
		・一時預かり保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	4	
	情報の発信	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	3	・こども園での生活や遊びの学びが保護者に伝わる工夫を検討し、発信していく。
		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立てているか	3	
	外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	4	・保護者アンケートの実施し、園運営の振り返りをしている。
		・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	4	
施設・設備	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4	・点検シートを活用し、毎月1回園内を巡視し、その都度、安全面の気づきを共有している。	
	・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4		
	・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4		
	・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	4		
経理出納	・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	4		

成果

- ・令和5・6年度幼児教育研究園として、“みんなでつくろう ほっと安心 笑顔いっぱいのかども園～自分も大事 みんなも大事 ”をテーマに掲げ、教育・保育を行った。子どもが安心し、身近な環境への興味関心を広げ、笑顔がいっぱいになる為の保育者の援助や環境構成を行ってきた。その中で、自分も大事、みんなも大事につながる子どもの姿を見取り、子どもの学びや育ちを確認し、保育者間で共有してきた。子どもの学びや育ちを実感しながら、さらに経験が豊かになる為の手立てを考え、保育を展開している。
- ・行事や日常の取り組みの中で、異年齢児との交流機会を意識して取り入れた。年上の異年齢児へ憧れて遊びを真似たり、年下異年齢児へ思いやりの気持ちをもってかかわったりするなど、関係が広がる経験ができた。
- ・地域連携コーディネーターが中心となり、近隣の小、中学校や保育施設と交流を企画した。中学からも家庭科(保育)の授業での交流依頼があり、ねらいを共有しながら、年3回の交流を行い、5年生と5歳児との交流も実施した。他学年も小中学校の校舎や校庭へ散歩に行かせてもらうなど、施設間の交流が増えつつある。
- ・看護師による毎月の保健指導では、視覚教材を活用したことで、基本的な生活習慣や、健康のために大切なことを知る機会となった。指導で使用了視覚教材を廊下に掲示することで保護者にも保健指導の内容が伝わり、親子で健康面に関心をもてる機会にもなった。
- ・栄養士や調理員による食育指導や給食の手伝い活動、味見当番などの取り組みにより、『食』への興味関心が広がった。
- ・一時預かり保育では、様々な利用者に寄り添い、丁寧な対応をすることで多くの地域の親子に安心して利用してもらうことができた。地域交流は、親子で様々な遊びを楽しむ時間となり、繰り返し利用いただくなど在宅家庭の子育て支援となった。

課題

- ・他園の研究会や研修会への参加可能となるよう体制を調整し、参加機会をつくった。その後研修での学びを報告し、職員間で共有する時間の確保が難しい。
- ・近隣の地域、施設との交流が出来つつあるが、「子どもの安全確保のため、地域社会・関係機関が等と連携を図る」までに至っていない。
- ・保護者のアンケートから外部侵入対策の更なる強化や、個人懇談会、学級懇談会の内容の検討の必要性を感じている。
- ・こども園での取り組みについて多くの市民へ周知していくためにホームページでの情報発信の内容や回数の検討が必要である。

改善策

- ・研修、研究会での学びの共有について、どのような方法がよいかを検討し、短い時間でも報告できる時間の確保を行い、園全体で共有する意識を高めていく。
- ・毎月の避難訓練を通して 職員間で災害時における判断や対応について気付いたことを振り返り、危機管理会議で共有し、全職員へ発信していく。
- ・保護者証を忘れないよう保護者に啓発する。また、安全推進委員と連携をすることで外部からの侵入を防ぐ。
- ・こども園の生活や遊び、園の取り組みを定期的に更新していく。